雲林上場

It's Our Time

雲林県の概要

生き生きと輝く雲林の登場

雲林縣政府 廣告

生き生きと輝く雲林の登場

目次

02 県知事の言葉/ 新しい雲林が 新しい幸せをもたらしてくれる
04 雲林県20 の行政区画の特色マップ
05 1 分でわかる雲林
06 **交通機関**/ 便利な道路網 雲林の隅々に行き渡る
12 **豊かな産業**/ 恵まれた雲林 物産の豊かな土地
18 **経済の強化**/ 工業の基礎を固め 地方経済を活性化
24 **水利整備と環境保護**/ 環境保護 持続可能な新生活を構築
30 **教育と学習**/ 教育を根付かせ 子どもたちに素晴らしい未来を
36 **社会福祉と医療**/ 愛と思いやりで 寄り添ったケアを提供
42 **文化と観光**/ 雲林めぐり 地元の風情にふれる

新しい雲林が
新しい幸せをもたらしてくれる

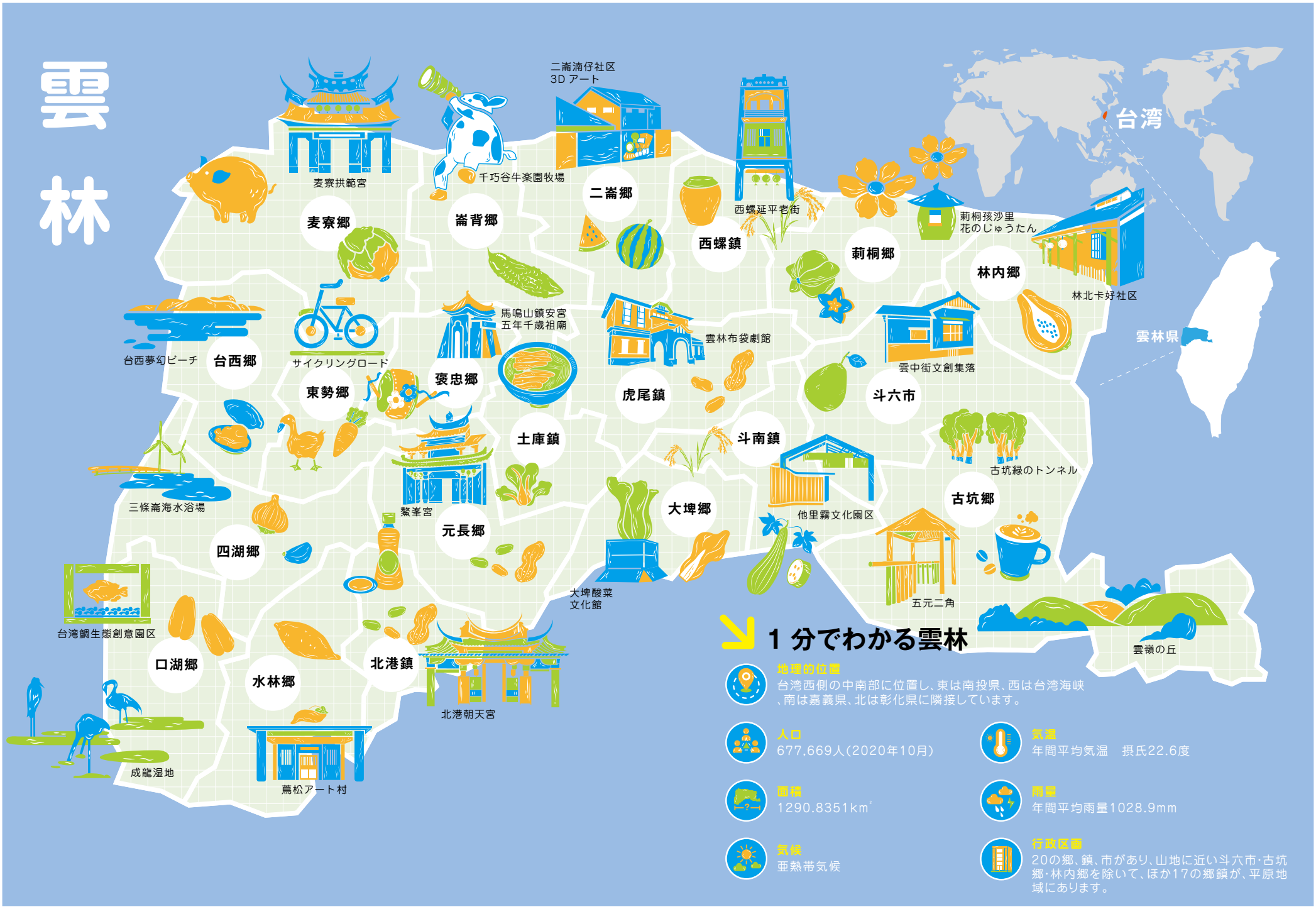
雲林県は台湾西側の中南部に位置し、嘉南平原の最北端に当たります。面積は13 万ha で、そのうち農地面積が8 万ha を占めています。1 年中日差しが降り注ぐ暖かな気候が、豊富な作物を育んでいるのです。野菜3 束のうち1 束が雲林産と言われるほど、台湾で最も重要な農業地域と言えます。

また、肥沃な土地以外にも、山、海岸、平原、史跡、文化などに恵まれ、それぞれに異なる特色と発展を見せています。一方、人口や経済などの問題による雲林の産業構造の転換もまた、必然的な流れと言えるでしょう。そこで私は着任後、すぐに資源を総点検し、各種県政の推進方向を段階的に計画してきました。最終的には、雲林県では「経済、産業、都市と農村、教育、母子、医療、介護、観光文化」の8 つの政策の下、「若者に就職先、高齢者に拠り所、企業にビジネスチャンス、弱者に尊厳、雲林に活路を見出す」という、5 つの目標を達成したいと考えています。

新しい雲林は、私たちの努力の下、ますます多くの可能性を広げ、より幸福度が高まっています。県庁職員ともども、国内外の皆さまが雲林にお越しくださることを心よりお待ち申し上げております。自然、純朴さ、そして便利な生活環境に触れ、私たちと共に雲林の素晴らしさをご体験下さい。

雲林県知事　張麗善

雲林



1 分でわかる雲林

地理的位置
台湾西側の中南部に位置し、東は南投県、西は台湾海峡、南は嘉義県、北は彰化県に隣接しています。

人口
677,669人(2020年10月)

気温
年間平均気温　摂氏22.6度

面積
1290.8351km²

雨量
年間平均雨量1028.9mm

気候
亜熱帯気候

行政区画
20の郷、鎮、市があり、山地に近い斗六市・古坑郷・林内郷を除いて、ほか17の郷鎮が、平原地域にあります。

交通機関

移動方法で
探索の視点が決まる
大通りから小道まで
スピーディーにものんびりでも
雲林を深く知るベストな方法

便利な道路網
雲林の隅々に行き渡る

交通の現況
整備された道路網

雲林へは南北のどちらからでも、国道1 号と3 号経由で訪れることができます。多数設置されているインターチェンジとサービスエリアが、観光·商業·生活の様々なニーズを満たします。

また、沿岸地区には台61 線西濱快速公路があり、沿海部の発展に貢献しています。台湾で最も長い東西向快速公路の台78 線は、国道1 号と3 号、及び台61 線と連結。省道の台1·3·17·19 線は、県内の道路網を結ぶ役割を果たしています。

公共交通機関
多様な移動手段を提供

台湾の一日生活圏を構築する高速鉄道では、雲林県虎尾鎮に雲林駅が設置されています。高速鉄道駅エリアの外部連絡道路体系は改善を続けており、特に「駅エリア北側道路改善工程第1 回入札」は、「2019 年度職業安全衛生優良公共工程金安賞－優等賞」及び「第19 回公共工程金質賞－佳作」を受賞しています。

また、県内には林内·石榴·斗六·斗南·石亀の5 つの台湾鉄道の駅が設置されています。このうち、斗六市では線路高架化計画を引き続き進めており、踏切·陸橋·地下道などの交通支障箇所を取り除くことで、線路両側の均衡的発展を目指します。

県の公共交通機関では、6 路線の市街路線バスに斗六地区の環状線ルートを有し、高速鉄道雲林駅から各地を往復する利便性を強化しています。また、地元民の通学と通院のニーズに応えるため、「デマンド型バス」と、僻地を回る初導入の「偏郷幸福バス」を運行しています。主要観光スポットを結ぶ「台湾好行（台湾トリップバス）」も、北港虎尾線と斗六古坑線の2 路線を運行しており、雲林を深く探索することができます。

県道149 甲・149 乙の開通
草嶺の繁栄を再現

県道149 甲は斗六古坑から草嶺に向かうための重要路線です。921 地震で寸断してから20 年経った今も、地元民や各地の観光客から復旧への期待が寄せられています。

県道149 甲が通行止めの間、県道149 乙が重要な迂回道路になりました。そこで、雲林県政府は南投県政府と連携し、共同で県道149 乙の道路品質を改善。現在では大型観光バスの通行も可能になっています。走行環境の大幅向上と、草嶺の観光客数の増加につながっているだけでなく、自治体を超えた連携の模範にもなっています。県政府はまた、県道149 甲の通行止め区間の復旧にも積極的に取り組んでおり、前後区間の復旧工事により、2021 年には全線開通となる予定です。さらに、清水渓にかかる橋梁建設も並行して進めることで、草嶺に再び繁栄をもたらします。

雲林生活圏
道路体系の全面構築

雲林生活圏では、多数の主要道路において、既存道路の修復と拡幅、危険支障区間の改善、橋梁新設などの工事を予定しています。総括的に計画を策定することで、地域における充実した道路網の構築と、道路の交通支障箇所の改善を推進し、運送量の向上を図ります。

豊かな産業

野菜３束のうち
１束が雲林産
５年連続で高い成果
農業生産高が
台湾全県市でトップに

恵まれた雲林
物産の豊かな土地

農業生産高
台湾トップの座に

雲林の山沿いの地区は、オレンジ、マーコット、文旦、パイナップルが多く生産されている果樹産地です。平原地区は北から南の順に、野菜、米、雑穀の産地となっており、特に米、落花生、ニンニク、サトウキビの栽培面積は台湾でトップを誇ります。

県全体の農業従事者は総人口の半分近くを占め、台湾屈指の農業県と評されています。今後も農業生産の人材育成に取り組むとともに、インテリジェント農業大学、有機・施設栽培クラス、農業耕新団（農作業支援グループ）も引き続き推進していきます。

雲林良品
世界の食卓に上る

雲林県では世界市場を目標に、農特産品ブランド「雲林良品」を積極的に展開しています。評価活動と認証制度を通して、地元の良質業者と製品を広く取り入れることで、雲林をアピールしています。

雲林良品は、全聯福利中心（PXマート）、楓康スーパー、微風スーパー、台中新光三越デパートをはじめ、台湾の百貨店、スーパー、EC サイトなど各主要販路とも提携。海外向けにも積極的に輸出販路を開拓しており、中国、カナダ、シンガポール、ブルネイ、マレーシアなどへの輸出に成功し、世界の食卓に商品を届けています。

農業のデジタル化
最新トレンドに乗る

農業では、新技術とデジタルプラットフォームの導入にも取り組んでいます。例えば「農産情報プラットフォーム」では、毎日の市場取引価格、各産地の生産量、輸入情報などをオンラインで検索できるサービスを提供しており、雲林県の農業の現状を手軽に把握することができます。

また、移動農場をコンセプトとする農業管理システムの「農務e 把抓」は、ユニークな栽培作業カレンダーにより、農作業の手配・管理と進度の追跡を行うことが可能。同時に「農産品生産履歴システム」に情報をアップロードすることで、トレーサビリティと情報の透明化を確保することができます。

農業ツーリズム
地元のスタイルを楽しむ

農業を主軸に据えた観光スタイルが、現在人気を呼んでいます。雲林にも、山間部で何年も連続で開催されている台湾コーヒーフェスティバルや、景観と天梯歩道で知られる古坑の華山レジャー農業エリアがあるほか、生態系の豊かな沿海地区にある金湖レジャー農業エリアでは、ハマグリの収穫、カキ剥き、湿地の動植物観察と、沿岸地区ならではの行程が楽しめます。

漁業・畜産製品
雲林の土地柄を反映

沿海部に位置する麦寮・台西・四湖・口湖の4 つの郷では、魚の養殖池が至る所に広がります。水産物の種類としては、台湾鯛（ティラピア）、ハマグリ、カキ、ウナギ、ボラの生産量が最も多く、漁師を代々育んでいます。

雲林は主要家畜生産県でもあります。豚、鶏、アヒル、ガチョウの飼育数はいずれも全国トップを誇り、生産高は300 億に上ります。家畜の解体・加工工場も全国最多で、多様な製品が生産されています。同時に、製品検査、生産履歴、CAS 認証などの実施により、安心して食せる雲林の味を消費者に届けています。

ビジョン図

経済の強化

開放的・積極的な態度で
経済をバージョンアップ
両手を広げ
雲林出身の若者の
Ｕターン創業を歓迎

工業の基礎を固め
地方経済を活性化

初期的発展
農業で工業を支援

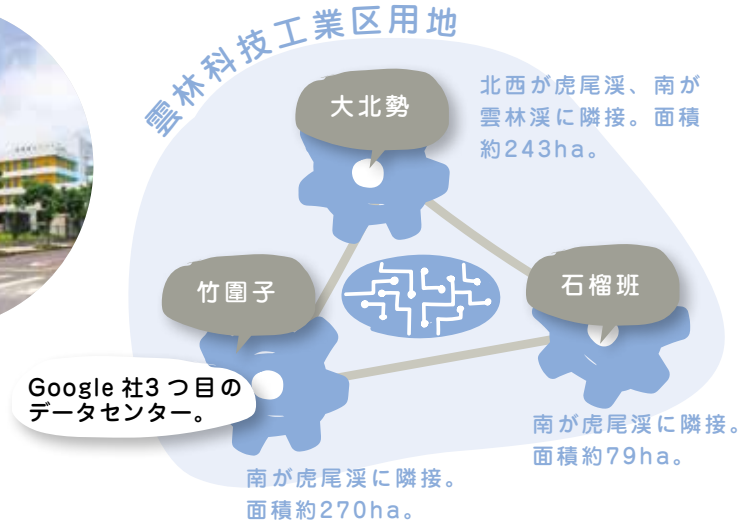
農業を基幹とする雲林では、工業の推進にも全力で取り組んでいます。初期に整備された「豊田工業区」と「元長工業区」は、プラスチック製品·食品·金属製品の生産が中心で、軽工業の発展と農村建設の拡大により、農業と工業の相補的発展を実現しています。

一方、「斗六工業区」は投資環境が優れているため、企業がこぞって投資して工場を設置。総開発面積は203ha にも上り、食品·金属·紡績·プラスチック業を中心とする総合型工業団地になっています。工業団地内に観光工場が多数あるのも特色の1 つで、観光の目玉にもなっています。

テクノロジー産業
新しいエネルギーを注入

「雲林科技工業区」のエリア内には、「大北勢」、「竹圍子」、「石榴班」の3 つの区域が含まれています。大北勢区は現在、ガラス基板·運動用品·医療製品·金属鋳造業が中心で、入居業者数は67 社、年間生産高は約1,076 億台湾ドルとなっています。また、Google 社は竹圍子区に約20ha の土地を購入し、台湾で3 か所目となるデータセンターを建設する予定です。

一方、中部サイエンスパークの虎尾園区には、光電やバイオテクノロジー産業を誘致。虎尾園区は面積が97ha に上り、国道1 号·台1 線·台78 線東西向快速道路に近く、かつ台南と台中の2 つのサイエンスパークの中間地点に当たるため、パーク間の連絡において重要な役割を果たしています。



三大園区
工業を頂点に導く

雲林県は今後も引き続き、「古坑産業加値園区」、「褒忠農産機械科技園区」、「台西産業園区」の三大園区の開発計画を推進していきます。このうち、古坑市街に隣接する「古坑産業加値園区」は、面積約71.35ha で、3,000 件以上の就業先の創出が見込まれます。

古坑産業加値園区見取図

若者の創業
人材を取り戻す

雲林の若の県内定着と、創業の夢の実現を支援するため、県政府は特別に国立雲林科技大学に依頼し、青年創業知識講座を5 回にわたり開催。創業計画の作成、創業準備、財務管理、マーケティング戦略、人的資源管理などをはじめ、創業の基本的知識と能力を養うことで、創業の成功率を高めます。

また、地方型SBIR 計画も毎年実施しています。SBIRとは小型企業技術革新研究プログラムのことで、中小企業の技術革新と研究開発業務に対して補助金を交付しています。イノベーションと若者の創業を並行して重点的に支援することで、若者創業者の技術革新と研究開発を奨励しています。

水利整備と環境保護

憧れの暮らし
美しい自然ときれいな空気
幸福は簡単には成し遂げられない
ささいな関心と変化の
一つ一つの積み重ねが大切

環境保護
持続可能な新生活を構築

大気汚染防止
すがすがしい空気を吸う

雲林県では専門家や学者を招き、大気汚染防止計画を策定しています。固定汚染源、移動汚染源、散逸汚染源を規制することで、大気の質が徐々に改善されています。また、ハマグリの殻と砕石の敷設、地被植物の栽培により、濁水渓の粉塵改善に著しい効果が見られることから、台西郷の蚊港村には、砂の固定や粉塵防止などに再利用する目的を兼ねて、ハマグリの殻やカキ殻など廃棄貝類の一時置き場を設置しています。

これと並行して、工業団地、交通渋滞ポイント、大規模な学校、各郷鎮市の役所には、小型大気センサーを設置。関連データを環境保護署のプラットフォームにアップロードできるだけでなく、一般の方々もスマホアプリやパソコンを通して、大気の状況をリアルタイムに把握することができます。

湿地保全
生態系も観光も充実

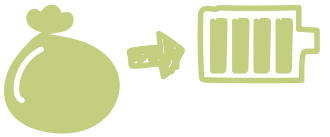
台湾の重要湿地の1 つに指定されている成龍湿地には、毎年渡り鳥が飛来し、クロツラヘラサギ、ハヤブサ、宜蘭ウキヤガラなど、貴重な動植物資源が集結しています。また、毎年4 月から5 月にかけて開催される「成龍湿地国際環境芸術祭」では、国内外の芸術家を創作に招待し、アートな美的感性を通して、環境理念を推進しています。

成龍湿地と同じく口湖郷に位置する椳梧湿地は、河口湿地、海岸湿地、魚養殖池、人工遊水池などとして、多様な特色を併せ持つため、各種鳥類が生息し、バードウォッチングのパラダイスになっています。

治水と水害防止
安全な郷土づくり

平らな低地帯に位置するため、長年水害に悩まされてきて雲林では、治水と水害防止による安全な環境づくりが、何より最優先される目標となっています。

優れた水環境整備の取り組みとして、護岸の改築、水門における揚水ステーションの新設、遊水池の整備といった水害防止対策を講じているほか、雨水下水道の清掃メンテナンス工事、河川及び地域排水のメンテナンス管理も定期的に実施。出水期前には河川の浚渫工事を完成し、水害発生後は災害復旧工事に全力で取り組んでいます。



ごみの梱包
汚染を減らし清潔に

雲林県では、ごみの分別、リサイクル、減量を積極的に呼びかけており、ごみの回収率は年々上昇しています。そこで、今後の計画を見据え、時間と空間のゆとりを確保できるよう、ごみを圧縮梱包することで、運搬と積み上げの利便性を高め、ごみの飛散と匂いの拡散防止を図っています。また、ゼロウェイスシステム（ZWS）のごみ資源化循環モデル施設も設置し、毎日の処理量に対応できるだけでなく、ごみから廃棄物固形燃料（RDF, Refuse Derived Fuel）を製造することもでき、循環利用にも役立っています。

食品残さ堆肥
牧畜の持続可能な発展

雲林県は全国に先駆け、食品残さを養豚飼料に使用することを禁止しています。食品残さをすべて堆肥化することで、アフリカ豚コレラの侵入を防止し、牧畜業の持続可能な発展を守るとともに、資源の循環利用を実現しています。また、養豚業者と政府の努力により、台湾は正式に口蹄疫地域から外れ、雲林産の上質な豚肉も再び海外に輸出できるようになりました。

食べ物を大切にする意識と、生ごみの分類回収も重要な一環です。生の残さを堆肥化処理し、火の通った残さをレンダリング処理した後、できた堆肥とレンダリング製品を調合して有機質肥料を製造しています。肥料は県内の社区、機関、学校、及び一般の方々に無料で提供しているほか、街路樹にも使用されています。

教育と学習

毎日笑顔であふれる
雲林の子どもたち
未来は近いとも
遠いとも言えない
手をつなぎ、寄り添うことこそ幸せ

教育を根付かせ
子どもたちに素晴らしい未来を

校内の改善
一緒に楽しく学習

教育は長期的な視点で見るものであり、ハード面もソフト面の整備も、子どもたちの未来につながる投資です。気候が日増しに暑くなる中、子どもたちが快適な環境で学習し、学習成果を高められるよう、雲林県では全国に率先して、全教室にエアコンを設置しています。

また、校内安全を確保するため、公立小中学校を対象に、老朽危険校舎の調査、補強、及び解体・建替え工事を実施しているほか、校舎の防水・断熱、トイレの修築、外気換気システムの設置、運動設備及び運動場・体育館の修繕など、校内施設の修築も進めています。校内の隅々まで全面的に改善を図ることで、子どもたちの安全を見守ります。

英語教育
国際的視野を育むために

英語は世界の架け橋であり、交流に必要な能力でもあります。大きな志を持った雲林の子どもたちには、世界に視野を向けてほしいと願っています。

それを支える者として、県政府は各学校の英語教材・教具の購入、外国人英語教師の増員に積極的に補助金を交付。また、バイリンガルによる試験的授業の推進と、多様な英語学習内容を計画することで、上質な英語学習環境の構築に取り組んでいます。同時に、一部の小中学校をバイリンガル学校として立ち上げ、中国語は補助的使用のみにとどめる、英語中心のバイリンガル教育を試験的に行うことにより、英語力を子どものうちから定着させることを目指しています。

スマートキャンパス
デジタル活用の新学習スタイル

スマートテクノロジーを活用した教育が今後の流れになることを見据え、県政府では小中学校に「スマートキャンパスネットワーク」と「スマートラーニング教室」を積極的に設置しています。モバイルデバイスを充実させるための補助金交付と、バーチャルリアリティ授業設備セットの配布も行っているほか、デジタル教育の教師の養成にも取り組んでいます。

また、斗六中学校・虎尾中学校・崙背中学校・建国中学校・東明中学校では、次々と「メイカー&テクノロジーセンター」が立ち上げられ、専門教師が学校と分野を超えて連携し、テクノロジー研修・教案開発・科学キャンプ・コンペティションなどに共同で取り組んでいます。

児童のケア
愛のある総合的保護を

児童ケアの面では、私立幼稚園の準公共幼稚園への加入と、非営利幼稚園の増設を奨励しているほか、各郷鎮に小学校付設幼稚園を設置することを目標に、その増設に取り組んでいます。一方、幼児を一般の私立幼稚園に通わせている家庭と、自宅で幼児の面倒を見ている家庭には、月々の育児手当を支給することで、育児の負担を軽減しています。

また、経済的貧困家庭の児童への食事支援として、夏・冬休みの昼食費を全額補助。対象児童は大手コンビニ4社の「幸福飽胃站」にて、食事券で食品と引き換えることができます。近場で利用できる便利なサービスを通して、子どもたちのお腹と心を満たします。

運動と道徳
動も静も実力派

雲林県に初めて設立された国民スポーツセンターは、レジャーと運動の機能を併せ持った施設です。多様な設備と会場を完備しており、若者や高齢者を問わず、どなたでもスポーツを気軽に楽しむことができます。

動も静も充実してこそ、理想的と言えます。2020年は雲林県の道徳教育イヤーです。県下の全小中学校に改めて「礼義廉恥」の額が掛けられたほか、道徳教育用の教材もすでに編集を完了。子どもたちの正しい道徳観を養い、学校に倫理を取り戻します。

社会福祉と医療

優しい気持ちと
愛と思いやりで
両手を差し伸べる
共に逆境を乗り越え
困難の時を乗り切る

愛と思いやりで
寄り添ったケアを提供

家庭の幸福は
ジェンダー平等と家庭内暴力防止から

多様化する社会において、ジェンダー平等は最優先される問題です。ジェンダー平等委員会は今後も、ジェンダー統計·ジェンダー予算·ジェンダー影響評価·ジェンダー分析·ジェンダー意識育成など、6 つの分析ツールの精度向上を図るとともに、学校や社区などの現場に臨んで広報指導活動を実施していきます。同時に、新住民が地元の生活に溶け込めるよう、継続してサポートしていきます。

また、児童·少年保護、家庭内暴力防止、性的暴力防止を推進するため、各村里に見守りステーションを1 か所ずつ設置するという目標もすでに達成しています。被害防止広報、地域の見守り、緊急時の通報、一時避難などのサービスを、地域が自主的に強化することで、安全な家庭セーフティネットの構築を目指します。

弱者支援
隅々に愛を

障害者と高齢者の通院リハビリの利便性を高めるため、雲林県の障害者対応バスは無料でサービスを提供しているほか、県民が便利に利用できるよう、斗六·虎尾·北港·四湖·西螺などのサブターミナルと、オンライン予約システムも設置しています。

一方の「実物銀行」は、これまで長い間、社会的弱者の家庭と人々に食品と物資を提供してきました。斗南には初の「スーパーマーケット型」実物銀行も開設し、今後は実物銀行の実店舗を1 区に1 か所開設することを目指し、サービスを隅々まで届けます。

社会福祉手当
数万人の生活を保障

雲林県では、低所得世帯の生活補助、障害者の生活補助、児童・少年の生活支援、中低所得高齢者の生活手当などに社会福祉手当を支給し、延べ数十万人の生活を支えています。また、全国初の「要介護高齢者家族介護手当」も実施しています。

他にも、マイクロ保険サービスを提供しており、県内の15 歳から70 歳までの該当対象を支援する「低所得及び中低所得世帯マイクロ保険」と、経済的に助けが必要な世帯を支援する「特殊事情家庭マイクロ保険」があります。

ケアのアップグレード
ワクチン無料接種と愛老眼鏡

雲林県の若い女性の健康を守るため、県内の中学1 年生の女子生徒を対象に、HPV（ヒトパピローマウイルス）9 価ワクチン接種のサービスを提供。HPV 接種による抵抗力向上を、国内で率先して推進している県市の1 つとなっています。また、65 歳以上の方を対象にした、肺炎連鎖球菌ワクチン接種計画も実施しています。

一方の「愛老眼鏡」は、65 歳以上の方が無料で老眼鏡を1 本作ることのできるサービスです。現在すでに2 万人に無料老眼鏡を提供しています。

長期介護2.0
高齢者を全力で見守る

人口高齢化の傾向に対応するため、衛生局では長期介護2.0 計画の17 業務を専門に担当する長期介護科を立ち上げました。2020 年10 月時点で、地域包括ケアサービスシステムのA 拠点を24 か所、B 拠点を262 か所、C 拠点を149 か所（社会福祉拠点112 か所、医療拠点37 か所）を設置し、延べ100 万人以上にサービスを提供しています。

また、日中の託老と食事サービスが一体になった「長青食堂」では、栄養たっぷりのおいしい食事とともに、学習や交流で外出できる機会を高齢者に提供。サービス拠点はすでに100 か所を超え、食事の利用頻度も全国でトップとなっています。

文化と観光

良き旅とは
眺望や文化
風土や人情を楽しむもの
山・海岸・平原
どこも見所が満載

雲林めぐり
地元の風情にふれる

山・海・平原
多様な表情を見せる

雲林には山·海·平原があり、それぞれ違う風景が楽しめます。山間部では、古坑の華山と草嶺風景区が特に知られており、前者はコーヒーと夜景、後者は万年峡谷や蓬莱滝といった自然の絶景が楽しめます。また、近年は「雲嶺の丘」と「五元二角」が新しい秘境スポットとして注目されています。

沿海地区の台西郷には、海の眺望が楽しめる夢幻ビーチや、SNS 投稿に人気の巻き貝をモチーフにした海園のロータリーがあり、口湖郷にも成龍湿地と椳梧遊水池があります。平原地区では、西螺大橋、老街、虎尾鉄橋、アート村をはじめ、各郷鎮がそれぞれの持ち味に合わせて特色を打ち出しており、雲林観光に楽しさをプラスしています。

グルメ＆ショッピング
ご当地の味を堪能

雲林では大通りから路地まで、至る所に庶民派グルメがあります。斗六の鮸魚嘴羹、肉圓、牛肉麺、炊仔飯。西螺東市場の三角大水餃、碗粿、麻糬。斗南の当帰鴨麺線、米糕。北港の鴨肉飯、青蛙湯、麺線糊、煎盤粿。虎尾の肉羹、爌肉飯と、おいしいものが盛りだくさんです。

また、ニンニク、落花生、西螺米、醤油、コーヒー、ごま油、沿海産のカラスミやウナギ、スイカやメロンをはじめとする果物など、雲林という土地ならではの味が楽しめる農産品のお土産もあります。

観光工場
教育と楽しさを両立

雲林県には、丸荘醤油観光工場、大同醤油黒金醸造館、源順ごま油観光工場、福禄寿観光酒造工場、朝露魚舗観光工場、台湾鯛生態創意園区、良作工場農業文創館、塔吉特ミルクレープ大使館、興隆タオル観光工場、雅聞峇里海岸観光工場など、経済部の評定に合格した観光工場が10 社あり、醤油、ごま油、酒類、水産物、肉類、スイーツ、タオル、スキンケア、コスメといった、雲林ならではの上質な製品を生産しています。

人文と史跡
時代の面影をしのぶ

雲林は台湾国定伝統芸術「布袋劇」の故郷であるだけでなく、県全体には114 か所の史跡と歴史的建築物があり、そのうち22 か所はすでに修復が完成し、活性化と運営を進めています。また、創建300 年の北港朝天宮で毎年開催されている、神輿巡行活動の「北港迎媽祖」は、国の重要民俗文化財にも指定されており、数万人もの参加者で賑わいます。

他にも、雲林布袋劇館、雲林故事館、西螺延平老街文化館、二崙故事屋、台西海口故事屋と、多様な地方文化館があるのも雲林の特色です。一方、虎尾合同庁舎や斗六雲中街生活集落のように、史跡の活性化により発展を続ける新興の文化クリエイティブスポットもあります。

街角ブックコーナー
幸福な読書環境づくり

微冊角落 ONE MORE PAGE

「微冊角落」（街角ブックコーナー）計画では、地元色のある拠点に、店内に書籍コーナーを設置することを広く呼びかけています。現在参加拠点はすでに100 を超え、1 万冊に近い書籍が流通しています。また、セブンイレブンとも初めて連携し、24 時間のミニ図書館を構築することで、読書推進に取り組んでいます。「微冊角落」は台湾の商標特許を取得しており、台湾全国の店舗からの加盟申し込みを受け付けています。

雲林県の概要

發行人 / 張麗善
発行機関 / 雲林県政府
編集委員 / 廖淑玲、黃俊彥、王秀如、吳國男
住所 / 雲林県斗六市雲林路二段515号
電話 / +886-5-5522000
写真提供 / 呂可喜、吳鴻森、徐木旭、許育綸、廖金禧
レイアウト印刷 / 長江広告有限会社 / +886-4-23727658
出版年月日 / 2020年12月
ISBN / 978-986-5425-82-1
GPN / 1010902259

生き生きと輝く雲林の登場